

令和元年度東海高等学校バスケットボール新人大会静岡県予選兼静岡県高等学校バスケットボール新人大会県大会

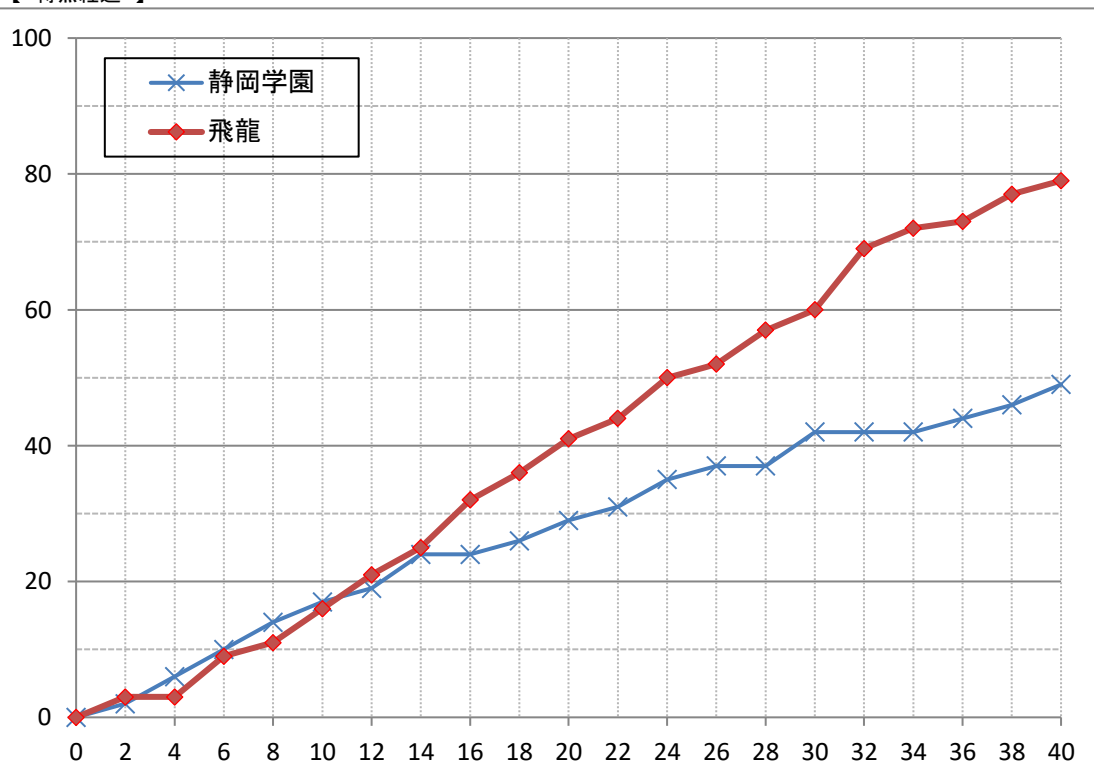
【 得点経過 】

男子決勝リーグ

試合日	2020年2月1日
会場	焼津シーガルドーム
コート	Bコート
開始時間	13:20

TEAM A		TEAM B
静岡学園 (中部)	49	飛龍 (東部)
	17 - 16	
	12 - 25	
	13 - 19	
	7 - 19	
	OT	

TEAM A 静岡学園 (中部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小川大新	18	4	3	0	2
5		中川賢信	4	0	2	0	0
6		本杉竜希弥	7	0	3	1	1
7		松下澤司	0	0	0	0	0
8	*	良知宏大	8	0	4	0	3
9	*	保谷蒼空	2	0	1	0	1
10		齋藤龍哉	3	0	0	3	1
11	*	三井勇一郎	2	0	1	0	5
12		北堀晃征	0	0	0	0	0
13		吉松拓海	0	0	0	0	0
14	DNP	武田義隆	0	0	0	0	0
15	*	瀧澤良斗	5	1	1	0	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			49	5	15	4	15



TEAM B 飛龍 (東部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	櫻井棕介	8	1	2	1	2
5		保坂晃毅	11	0	5	1	3
6	*	古大内雄梨	6	0	3	0	0
7		細野泰生	3	1	0	0	1
8		山本愛哉	3	1	0	0	0
9		佐藤彩人	9	1	3	0	0
10	*	鳥見勇敬	12	1	4	1	0
11	*	遠藤涉夢	11	2	2	1	2
12	*	三橋翔	2	0	1	0	2
13		番地敦也	5	0	2	1	1
14		池田涼	2	0	1	0	0
15		渡邊晴	5	0	2	1	2
16		斎藤大	2	0	1	0	2
17		坂田翔	0	0	0	0	0
18		佐藤銀次	0	0	0	0	1
19		岡部智也	0	0	0	0	0
20	DNP	庄司空人	0	0	0	0	0
21	DNP	土谷悠真	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			79	7	26	6	16

【 戦評 】

1Q 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。序盤互いに激しいディフェンスでせめぎ合う中、静岡④小川がシュートを決めると、飛龍⑩鳥見がバスケットカウントを決め返し、互いに流れを渡そうとしない。両者守り合う展開の中で、静岡学園は⑧良知を中心に得点を挙げる。対する飛龍も⑩鳥見のドライブから点を取る。途中飛龍は⑤保坂、⑧山本を投入して流れを掴もうとするが、静岡学園も確率よく得点を決め、流れを渡さない。お互い拮抗したままで17-16で静岡学園リードで1Q終了。

2Q 飛龍は引き続きオールコートマンツーマンディフェンスでプレッシャーをかけ続け、得点差を広げようとするも、静岡学園も粘りを見せる。飛龍は⑤保坂、⑧山本、⑨佐藤を中心に得点を重ねるが、静岡学園も④小川、⑧良知で取り返す。飛龍のディフェンスによるプレッシャーが徐々に効き始め、飛龍が5点リードしたところで静岡学園がタイムアウトを取る。しかしタイムアウト後も飛龍のプレッシャーは緩まず、⑥古大内の連続ドライブで突き放す。静岡学園も⑪三井のドライブ、⑮瀧澤のスリーポイントで粘りを見せるが、飛龍のプレッシャーが効き始め、なかなかシュートで終われない。加えて飛龍は効果的なパス回しからの1対1で⑨佐藤、④櫻井が加点し、41-29と点差を広げ、飛龍がリードで2Q終了。

3Q 後半も両者マンツーマンでスタート。飛龍はオールコートでさらにプレッシャーをかける。静岡学園⑨保谷、④小川の1対1を中心に攻め、対する飛龍はシュートがリングに嫌われながらも、ドライブやフリースローで全員がバランス良く得点を積み重ねる。飛龍⑪遠藤の3連続スリーポイントで点差を20点差に広げる。④小川、⑥本杉が得点を取って粘り続けるも、60-42で飛龍リードで3Q終了。

4Q 飛龍のディフェンスプレッシャー、オフェンスの勢いは緩まない。その勢いはベンチメンバーと交代しても変わらず、72-42で静岡学園がタイムアウトを取る。静岡学園は⑤中川のゴール下が連続で得点を上げるも、飛龍のオフェンスリバウンドが止まらず、差は縮まらない。ベンチメンバーを含めた全てのプレーヤーが終始ディフェンスでプレッシャーをかけ続け、リバウンドを制圧し、効果的なシュートシチュエーションを作り続けた飛龍が2勝目を挙げた。